

5 利用者のニーズに答える新しいコンビニを提案する

私が提案する新しいコンビニは、ATM やパソコンのデータファイルなどを印刷できるコピー機を配置したコンビニである。

現在公益文科大学内にあるコンビニである「もっけ」について観察や使用をしてみたところ、配置されているコピー機はコピーしかできず、パソコンに連動して、データを印刷したり、USB 内のデータを印刷したりできないことが分かった。また、大学内には、学生が使える ATM がなく、仮に学内コンビニで学用品や食品を買う時、もしくはカフェテリアでご飯を食べようとした時に、現金を忘れた場合に購入できない状況になってしまうことがわかった。

これらの「もっけ」の観察で分かったことから、大学内のコンビニに求められている顕在的ニーズと潜在的ニーズについて考えた。

まず、顕在的ニーズは、より多機能で快適なコンビニを利用したいというニーズで、潜在的ニーズは、学内で勉強するうえで必要なものが全て揃うようなコンビニにしてほしいというものだと思う。

これらの顕在的ニーズと潜在的ニーズから、コンセプトとプロダクトを考えた。まず、私の考える新しいコンビニのコンセプトとして、ターゲットは学生であり、学生が求める ATM やパソコンや USB 内のデータを印刷できるコピー機のニーズに答えて作る学生のためのコンビニであるため、「学生の学習の味方になる多機能コンビニを設置する」となるだろう。

次に、プロダクトとして、コンセプトである「学生の学習の味方になる多機能コンビニを設置する」を具体化すると、場所は「もっけ」と同じように学食の近くに配置し、開店から閉店までの時間帯は、大学内の学生の学習時間に合わせて、1 限目が始まる前の 8 時 30 分から、5 限目が終わって学内で自習する人のために 22 時までとする。また、パソコンのデータや USB 内のデータを印刷できるコピー機や、手元にお金がなくても大丈夫のように ATM を設置したコンビニであり、学用品なら何でも揃うような品揃えのコンビニだと思う。

この「学生の学習の味方になる多機能コンビニ」の期待される効果は、パソコンのデータや USB 内のデータをコンビニでも印刷できるようになることで、学内で学習する学生がより効率的で有意義な学習ができるようになるということと、ATM を設置することで、より快適な学生生活を送ることができるようになるという効果が考えられるだろう。

以上の効果が期待されるため、私は、新しいコンビニとして「学生の学習の味方になる多機能コンビニ」を提案する。